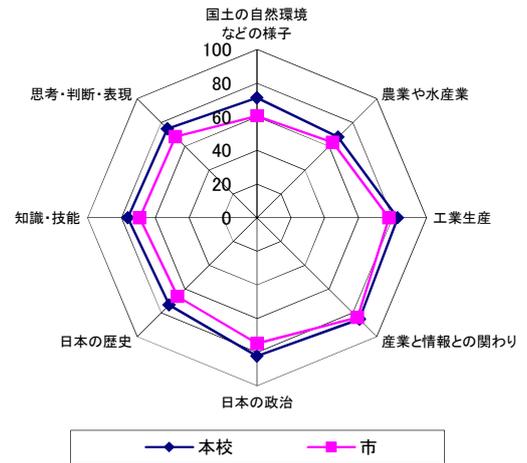


# 宇都宮市立富士見小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

領域別	観点別	本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	71.3	60.5	65.8
	農業や水産業	67.7	63.3	66.0
	工業生産	83.0	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	85.4	83.8	76.6
	日本の政治	82.3	74.9	74.1
	日本の歴史	73.3	66.3	68.3
観点別	知識・技能	76.2	69.3	71.4
	思考・判断・表現	74.7	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○本領域の平均正答率は71.3%で、市の正答率を10.8ポイント上回った。 ○「海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成について、地図をもとに考え、表現している」の平均正答率は81.3%で、市の正答率を17.3ポイント上回った。	・国土周辺の様子について、概ね理解出来ている。雨温図から気候の特色を読み取るなど、国土の自然環境に興味をもたせ、理解を深めさせていく。
農業や水産業	○本領域の平均正答率は67.7%で、市の正答率を4.4ポイント上回った。 ○「米の品質を高める工夫について理解している」の平均正答率は93.8%で、市の正答率を7.4ポイント上回った。 ●「日本の主な食料の自給率について理解している」の平均正答率は、市の正答率を4.3ポイント上回っているが40.6%であった。	・農業や水産業について、概ね理解出来ている。しかし、日本の主な食料の自給率についての理解が不十分なので、地方の特産物への興味をもたせたり、食料を安定して確保するためにはどのような取組みが必要か考えたり出来るよう指導していく。
工業生産	○本領域の平均正答率は83.0%で、市の正答率を5.1ポイント上回った。 ○「自動車の部品を再利用する目的について理解している」の平均正答率は93.8%で、市の正答率を6.9ポイント上回った。 ●「日本の主な輸出品・輸入品について理解している」の平均正答率は、市の正答率を5ポイント上回っているが61.5%であった。	・工業生産について、概ね理解出来ている。輸出入に関する資料を基に、日本の輸出品・輸入品それぞれの特徴について復習しながら、理解に繋げていく。
産業と情報との関わり	○本領域の平均正答率は85.4%で、市の正答率を1.6ポイント上回った。 ○「情報の発信と受信の注意点について考えている」の平均正答率は、市の正答率を0.2ポイント下回っているが92.7%であった。	・産業と情報との関わりについて理解が深まっている。NHKの放送資料などを活用したり、情報を活用していることが分かる新聞記事やホームページを紹介したりすることで、くらしの中で情報がどのように活用されているかについて、興味をもたせるように働きかけていく。
日本の政治	○本領域の平均正答率は82.3%で、市の正答率を7.4ポイント上回った。 ○「基本的人権の尊重の基本的な考え方について理解している」の平均正答率は92.7%で、市の正答率を11.4ポイント上回った。 ○「議会政治について、資料をもとに考え、表現している」の平均正答率は65.6%で、市の正答率を12.6ポイント上回った。	・日本の政治について、理解を深めている。国民がどのようにして政治に参加することができるのか、インターネットで調べたり、模擬選挙を体験したりすることで、興味をもって学ぶことができるように支援していく。
日本の歴史	○本領域の平均正答率は73.3%で、市の正答率を7.0ポイント上回った。 ○「大和朝廷による統一について理解している」の平均正答率は75.0%で、市の正答率を12.4ポイント上回った。 ●「元との戦いについての理解をもとに、防塁が築かれた場所を判断している」の平均正答率は、市の正答率を9.6ポイント上回っているが53.1%であった。	・日本の歴史について、概ね理解出来ている。 ・元寇について、当時の地形を確認したり、主要人物との関わりに気付かせたりすることで、防塁がなぜ築かれたのか理解させる。